

第 36 回 武庫川流域委員会 議事骨子

1 議事録及び議事骨子の確認

松本委員長と谷田委員が、議事録及び議事骨子の確認を行う。

2 運営委員会の報告

第 43 回運営委員会(3 月 3 日開催)の協議状況について、松本委員長から報告があった。

3 総合治水対策の検討

(1) ワーキングチームからの報告

総合治水ワーキングチーム会議(第 25 回、第 26 回)の協議結果について、松本主査(委員長)から報告があった。

(2) 河道対策、流域対策、貯留施設の検討

- ・「河道対策 5 つのメニューについての第 25 回 WT 会議の集約(メモ)」及び「武庫川総合治水対策の効果量(試算)」について、松本主査から説明があった。
- ・中川委員から、意見書(既存ダム)について、説明があった。
- ・協議した結果、次のことが確認された。

河道対策については、「集約(メモ)」を加筆修正(補強、精査)の上、河道対策の基本方針として、再整理する。

流域対策の「効果量(試算)」については、基本方針ベースで最大限見込んだ場合の効果量であり、現時点での整理である。現実的(物理的)に実施可能か否かを含め、詳細は今後検討する。

貯留施設(洪水調節施設)については、検討の優先順位として、まず、遊水地、既存ダム(活用)を検討し、その上で新規ダムの必要性を検討する。その上で、基本高水の選定(一本化)を視野に入れながら、基本高水配分の検討を進める。

4 ワーキンググループからの報告

第 9 回まちづくりワーキンググループ会議(3 月 3 日開催)の協議状況について、田村主査から報告があった。

5 その他(今後の開催日程)

- ・第 37 回委員会は、平成 18 年 3 月 21 日(火)13:30 から、三田市商工会館で開催する。
- ・第 40 回委員会は、平成 18 年 5 月 2 日(火)13:30 から開催する。
- ・第 10 回川パ-ミーティングは、武庫川の治水方針をテーマとして、平成 18 年 3 月 25 日(土)13:30 から、尼崎商工会議所で開催する。